

臨床看護学

Clinical Nursing

成人看護学(外科系)研究室

Adult Nursing Acute Stage

教授 田澤 賢次 Kenji Tazawa
助教授 八塚 美樹 Miki Yatsuzuka
助手 安田 智美 Tomomi Yasuda
助手 吉井 美穂 Miho Yoshii

◆ 著 書

- 1) 田澤賢次, 西野輔翼編著: がん抑制の食品事典. 一日一個のりんごで, 発癌物質を効率よく消し去ることが出来る. 法研. 108-113, 2003.

◆ 原 著

- 1) 前田 清, 平川弘聖, 田澤賢次: クシャラ・ストラを用いたCrohn病合併痔瘻の治療. 手術, 57(1):81-85, 2003.
- 2) 野本一博, 山本克弥, 長沼甲太郎, 田澤賢次, 塚田一博: インフリキシマブが著効した大腸型クローン病の1例. ENDOSCOPIC FORUM for digestive disease, 19(1):78-83, 2003.
- 3) Tazawa Kenji, Wada Shigehiro, Yatsuzuka Miki, Saito Tomohiro, Tazawa Kenichi, Nagano Isamu, Igarashi Kouichi, Furuta Isao, Nagae Hideo: Development of a portable inductive heating system using Dextran magnetite complex(DM) -heating characteristics in vitro and the antitumor effect in VX2 tumor-bearing rabbits-. Japanese Journal of Hyperthermic Oncology, 19(2):79-87, 2003.
- 4) 田澤賢次, 竹森 繁: 肛門の構造と機能. 外科治療, 89(6):617-622, 2003.
- 5) 田澤賢次, 大上英夫, 風晴浩一, 松江 一: アップルペクチンの癌抑制作用と活性酸素抑制. 医学のあゆみ, 204(1):85-90, 2003.
- 6) 田澤賢次, 市橋研一, 藤江貴子, 大村和伸, 穴沢麻梨, 前田浩明: 米ぬかエキス水解物の免疫賦活作用による高齢者に対するかぜ症候群予防効果. 和漢医薬学雑誌, 20(3):132-141, 2003.
- 7) 田澤賢次, 小川耕平, 北條直美, 伊藤要子: マイナスイオンのスポーツ選手への効果—オリンピック候補選手合宿からソルトレイク冬季オリンピック選手への応用. 全国マイナスイオン医学会誌, 6(1):40-46, 2003.
- 8) 田澤賢次, 小川耕平, 八塚美樹: 電界光線治療

器(SLE)とマイナスイオン水生成器(HA398型)の使用—全日本クラスのコンバインドおよびクロスカントリースキー選手2名における長期使用とその成績からの評価—. 全国マイナスイオン医学会誌, 6(1):47-50, 2003.

- 9) 安田智美, 田澤賢次: 看護にとって栄養とは; 看護と栄養の関わり合い, 栄養と免疫の関係. 臨床看護30(1):9-14, 2003.
- 10) 安田智美: 皮膚保護剤のベストチョイスの基本ルール. 消化器外科ナーシング 8(8):737-745, 2003.

◆ 総 説

- 1) 田澤賢次: 汚れた腸をきれいにしてガンも活性酸素の害も防ぐアップルペクチンが豊富な焼きりんご. 安心. 10:40-42, 2003.
- 2) 田澤賢次: リンゴ. 腸すっきりポデイ, 日経ヘルス編, 45-46, 2003.
- 3) 田澤賢次: マイナスイオンの人体への効果について. 電気協会報, 11:28~31, 2003.

◆ 学会報告

- 1) 田澤賢次: FBRA摂取と血液動態-2. 第8回FBRA全国研究会, 2003, 1, 東京.
- 2) 安田智美, 八塚美樹, 吉井美穂, 古谷由香里, 岡野純代, 田澤賢次, 梶原睦子: 男性オストメイトの性生活満足度と夫婦の関係性—セクシャリティの違いから—. 第20回日本ストーマリハビリテーション学会, 2003, 2, 名古屋.
- 3) 橋場有紀, 古谷由香里, 谷優美子, 岡野純代, 吉井美穂, 安田智美, 八塚美樹, 田澤賢次: オストメイトの「におい」における研究の歴史. 第20回日本ストーマリハビリテーション学会, 2003, 2, 名古屋.
- 4) 長内志津子, 八塚美樹, 安田智美, 吉井美穂, 葭原夕紀子, 荻浦陽子, 原 元子, 田澤賢次: オストメイトの「ボディイメージ」研究に関する内容分析. 第20回日本ストーマリハビリテーション学会, 2003, 2, 名古屋.
- 5) 松井文, 宝田美紀代, 酒井恵子, 向山要史子, 高島里美, 寺垣秀山, 八塚美樹: 高齢者の術後せん妄の予測に関する一考察—2001年版JNCSを使用して—. 第14回富山県看護研究発表会, 2003, 2, 富山.
- 6) 和泉美香, 高藤久子, 横川のり子, 扇真紀子, 林敦子, 八塚美樹: 集中治療部における転倒・転落事故の内的要因と外的要因. 第14回富山県看護研究発表会, 2003, 2, 富山.
- 7) 吉井美穂, 境美代子, 落合 宏: 看護学生における感染対策に対する意識の実態. 第18回日本環

- 境感染学会, 2003, 2, 横浜.
- 8) 田澤賢次: クシャラ・スートラのメカニズムと臨床成績. 春の機能性食品シンポジウム2003, 2003, 5, 東京.
 - 9) 田澤賢次: マイナスイオンとスポーツ. 2003全国マイナスイオン医学研究会大会, 2003, 5, 東京.
 - 10) 田澤賢次: 日本におけるクシャラ・スートラの治療成績と国産クシャラ・スートラの成績. 第2回アールヴェーダ国際セミナー, 2003, 5, 大阪.
 - 11) 田澤賢次: アップルペクチンの健康機能と利用. ifia/HFE JAPAN2003国際シンポジウム, 2003, 6, 東京.
 - 12) 岡野純代, 安田智美, 吉井美穂, 八塚美樹, 田澤賢次: 温泉療法の評価に関する研究—HSP(Heat Shock Protein)の視点から—. 第29回日本看護研究学会学術集会, 2003, 7, 大阪.
 - 13) 吉井美穂, 八塚美樹, 安田智美: 看護学生における成人看護学周手術期実習を通してのイメージの変化とその特徴. 第29回日本看護研究学会学術集会, 2003, 7, 大阪.
 - 14) 尾野上順子, 白川絵梨, 重野千裕, 澤田敬子, 荒城紀子, 高島和代, 柴田裕子, 山本克弥, 田澤賢次: 巨大褥瘡患者へのトータルケアDESINEを用いて. 第5回日本褥瘡学会学術集会, 2003, 8, さいたま.
 - 15) 田澤賢次: 創傷治癒の局所環境と全身環境—創傷管理に忘れられているメカニズムを探る. 第20回北海道ストーマリハビリテーション研究会, 2003, 9, 札幌.
 - 16) 安田智美, 八塚美樹, 吉井美穂, 河上裕子, 橋場有紀, 田澤賢次: 退院後のオストメイトが求める相談内容. 第19回北陸ストーマ研究会, 2003, 9, 富山.
 - 17) 小川耕平, 田澤賢次, 八塚美樹, 安田智美, 吉井美穂, 江口孝雄, 福井洋二郎: マイナスイオン印加と抗酸化能の検討(第1報)—マイナスイオン印加超純水のヒドロキシラジカルの消去能. 第62回日本癌学会総会, 2003, 9, 名古屋.
 - 18) 田澤賢次, 小川耕平, 八塚美樹, 安田智美, 吉井美穂, 堀口昇, 堀口裕, 田中一美, 越智宏倫: マイナスイオン印加と抗酸化能の検討(第2報)—堀口式イオン変換器によるマイナスイオンのヒトへの効果. 第62回日本癌学会総会, 2003, 9, 名古屋.
 - 19) 八塚美樹, 田澤賢次, 吉井美穂, 安田智美, 小川耕平, 老田尚子: タバコ煙暴露溶液の紫外線照射によるフリーラジカル種の同定と抗酸化食品による消去. 第62回日本癌学会総会, 2003, 9, 名古屋.
 - 20) 古谷由加里, 田澤賢次, 小川耕平, 伊藤要子, 吉井美穂, 安田智美, 八塚美樹, 大野日佐太: 遠赤外線全身温熱加温器(スマーティ)により誘発される汗由来活性酸素の同定とHSPの誘導. 第62回日本癌学会総会, 2003, 9, 名古屋.
 - 21) 田澤賢次, 山本克弥, 御影雅幸: 日本におけるクシャラ・スートラの治療成績と国産クシャラ・スートラの成績. 第25回日本アールヴェーダ学会総会, 2003, 10, 倉敷.
 - 22) 稲見年美, 前野ひろみ, 山田友紀恵, 大川幸江, 八塚美樹: 母親手洗いに関する実態調査. 第42回全国自治体病院学会, 2003, 10, 岩手.
 - 23) 安田智美, 八塚美樹, 吉井美穂, 河上裕子, 橋場有紀, 田澤賢次: 退院後のオストメイトが求める相談内容から外来看護を考える. 第4回富山医科薬科大学看護学会学術集会, 2003, 10, 富山.
 - 24) Tazawa Kenji: Skin barriers in stoma care. 9th The Asian Federation of Coloproctology, 2003, 11, Soul.
 - 25) 田澤賢次: 日本におけるクシャラ・スートラの治療成績と国産クシャラ・スートラ. 第108回神奈川県臨床外科医学会集談会, 2003, 11, 横浜.
 - 26) 葭原由紀子, 田澤賢次, 小川耕平, 八塚美樹, 安田智美, 吉井美穂, 堀口昇, 堀口裕: マイナスイオン印加と抗酸化能の検討—堀口式イオン変換器によるマイナスイオンのヒトへの効果—. 第16回日本バイオセラピー学会学術集会総会, 2003, 12, 富山.
 - 27) 高尾亜弥乃, 中野綾子, 八塚美樹: SD法による看護学生のBody Imageの実態. 第4回成人看護学(急性期)集談会, 2003, 3, 富山.
 - 28) 長内志津子, 八塚美樹, 吉井美穂, 安田智美, 田澤賢次: オストメイトの「ボディイメージ」研究に関する内容分析. 第4回成人看護学(急性期)集談会, 2003, 3, 富山.
 - 29) 橋場有紀, 安田智美, 吉井美穂, 八塚美樹, 田澤賢次: オストメイトの「におい」に関する調査研究. においの感じ方と防臭対策の実態. 第4回成人看護学(急性期)集談会, 2003, 3, 富山.
 - 30) 谷優美子, 八塚美樹, 安田智美, 吉井美穂, 田澤賢次: ストーマ外来におけるオストメイトが知覚するソーシャルサポート. 第4回成人看護学(急性期)集談会, 2003, 3, 富山.
 - 31) 西島潤, 八塚美樹: 褥瘡治療における入浴効果の文献的考察. 第4回成人看護学(急性期)集

- 談会, 2003, 3, 富山.
- 32) 葎原夕紀子, 吉井美穂, 安田智美, 八塚美樹, 田澤賢次: 中高年におけるスポーツ傷害についての実態調査. 第4回成人看護学(急性期)集談会, 2003, 3, 富山.
- 33) 原元子, 八塚美樹, 田澤賢次: 血液透析患者の介護保険適用時の問題点. 第4回成人看護学(急性期)集談会, 2003, 3, 富山.
- 34) 吉井美穂, 安田智美, 八塚美樹, 田澤賢次: 看護学生における感染管理に対する意識の実態. 第4回成人看護学(急性期)集談会, 2003, 3, 富山.
- 35) 松井まり子, 山本美紀, 老田尚子, 小川耕平, 田澤賢次: 市販の水改質器における還元水のヒドロキシルラジカル抑制率とORP測定の意義. 第4回成人看護学(急性期)集談会, 2003, 3, 富山.
- 36) 酒井智穂美, 山田真衣, 荻浦陽子, 田澤賢次: 健康食品の摂取における血液流動性の変化玄米発酵食品: ハイゲンキとアップルペクチン・乳酸菌含有食品: バイオシグマアップルパワーを用いての検討. 第4回成人看護学(急性期)集談会, 2003, 3, 富山.
- 37) 荻浦陽子, 老田尚子, 小川耕平, 田澤賢次: 血液学におけるレオロジーの進歩と臨床応用. 第4回成人看護学(急性期)集談会, 2003, 3, 富山.
- 38) 岡野純代, 小川耕平, 八塚美樹, 田澤賢次: 温泉療法の評価に関する研究 Heat Shock Protein の視点から. 第4回成人看護学(急性期)集談会, 2003, 3, 富山.
- 39) 古谷由香里, 小川耕平, 老田尚子, 八塚美樹, 田澤賢次: 生体防御作用を有する熱ショック蛋白質 (Heat Shock Protein) の誘導に関する研究. 特に遠赤外線温熱負荷による誘導法の確立とテブレノンの有効性の検討. 第4回成人看護学(急性期)集談会, 2003, 3, 富山.

臨床看護学

Clinical Nursing

小児看護学研究室

Pediatric Nursing

教授 廣瀬 幸美 Yukimi Hirose

助手 長谷川嘉奈子 Kanako Hasegawa

◆ 研究概要

先天性心疾患児の療育支援, 小児の感染看護に関する研究

◆ 原 著

- 1) 廣瀬幸美, 一木美智子, 市田落子, 大嶋義博: 先天性心疾患児療育ニーズに関する研究—第1報: 新しい尺度の開発—. 日本小児循環器学会雑誌, 19(1):14-19, 2003.
- 2) 廣瀬幸美, 一木美智子, 市田落子, 大嶋義博: 先天性心疾患児療育ニーズに関する研究—第2報: 専門家と母親が把握する療育ニーズの比較検討—. 日本小児循環器学会雑誌, 19(1):20-27, 2003.

◆ 学会発表

- 1) 佐々木菜穂, 石黒千映子, 馬場重好, 廣瀬幸美, 矢野久子: 看護学生の日常的手洗いの実態と衛生的な手洗いの教育効果. 第18回日本環境感染学会, 2003, 2, 横浜.
- 2) 前田美子, 長谷川嘉奈子, 廣瀬幸美: 幼児の排泄のしつけに対する母親の意識とその関連要因. 第13回日本小児看護学会, 2003, 7, 千葉.
- 3) 北澤由実子, 廣瀬幸美: 関わりにくい幼児の行動の実態とその因子構造—保育士を対象とした調査より—. 第13回日本小児看護学会, 2003, 7, 千葉.
- 4) 中瀬晶恵, 廣瀬幸美: 発達障害が疑われる児をもつ母親の育児困難感とその関連要因. 第13回日本小児看護学会, 2003, 7, 千葉.

◆ その他

- 1) 廣瀬幸美, 皆川恵美子訳: 因果関係の推論(1); 関連から因果関係への疫学的推論. Leon Gordis 著, 木原正博, 木原雅子監訳: 疫学—臨床・公衆衛生・法律的判断のための基礎医学—, 三煌社, 東京, 185-205, 2003.